

## 1-1

## 開発工程とレビュー

## 1 一般的な開発工程

システム開発は、一般に図 1-1 に示すような手順で行われる。それぞれの開発過程（開発プロセスと呼ばれる）では、作業内容を明確にするために文書（ドキュメント）が作成され、作業完了後、文書を複数のメンバでチェックする。

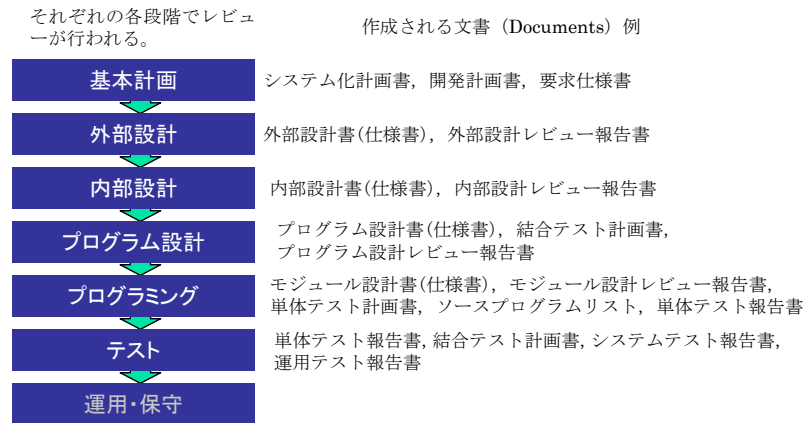


図 1-1 一般的なシステム開発工程

## 2 レビュー

## (1) レビューとは

文書を複数のメンバーでチェックすることをレビューという。レビューを行うことによって、誤りを早期に発見することができ、ソフトウェアの品質向上や信頼性向上に役立ち、開発の管理も容易になる。

レビューには、次のような種類がある。

- ・ デザインレビュー (Design Review)
- ・ ウォークスルー (Walk through)
- ・ インспекション(Inspection)

## (2) デザインレビュー

デザインレビューとは、各工程別に文書等の評価を行うための検討会であり、基本的には、工程の切れ目で実施される。デザインレビューには、運用・保守工程の担当者（ユーザ部門）の担当者が参加することが望ましい。

デザインレビューは、実施時期により次のように分類することができる。

- ・ フェーズターミネーションレビュー（各設計フェーズの終了時）
- ・ タスクターミネーションレビュー（個々のタスク終了時に短時間で実施）

## (3) ウォークスルー

演劇分野で、早期に略式リハーサルをすることをウォークスルーと呼ぶことから、次の工程に進む前に、開発関係者が集まり、前工程の成果物の誤り等を見つける会議がウォークスルーと名付けられた。ウォークスルーでは、前もって成果物を参加者に配布し、参加者は配布資料を事前に目を通しておくほうが良いが、事前に目を通すのは守れないことが多いので、最低限、目を通して欲しい事柄を箇条書き等にして渡すなどの工夫が必要である。

## (4) インспекション

インспекションとは「精査」という意味である。インспекションでは、訓練を受けた議長と、別々の視点からチェックする役割を持った責任者が質問表を作成し、客観的に評価する。インспекションの責任者は**モデレータ**と呼ばれる。

モデレータは、成果物のチェック・評価結果を記録し、会議で、プロジェクト構成員に対して問題点を周知徹底させる。なお、モデレータは1人である必要はない。